

WDACポリシー配布手順書（SKYSEA管理者用・図入り版）

第1章 概要

この資料は、Windows Defender Application Control（WDAC）ポリシーをSKYSEA Client Viewの配布機能を利用して配布する手順を示します。配布対象は社内端末であり、管理者がSkyseaサーバーから直接「SI Policy.p7b」ファイルを配信します。

図1：全体構成図

（図）Skyseaサーバー 社内端末 への配布フロー（管理者操作を介して自動転送）

第2章 事前準備

1. WDACポリシーを作成し、「InitialPolicy.bin」をエクスポートします。
2. ファイル名を「SI Policy.p7b」に変更します。
3. 配布先のフォルダ構成を確認します：C: / Windows / System32 / CodeIntegrity

図2：準備手順イメージ

（図）ポリシーファイル作成 拡張子変更 配布準備 の流れを線画で説明

第3章 SKYSEA配布設定手順

1. Skysea管理コンソールを開き、「ソフトウェア配布」メニューを選択します。
2. 新規配布ジョブを登録し、ファイルに「SI Policy.p7b」を指定します。
3. 配布先フォルダに「C: / Windows / System32 / CodeIntegrity」を指定します。
4. 「上書き配布を許可」および「管理者権限で実行」をONに設定します。

図3：配布設定画面イメージ

（図）配布ジョブ登録 ファイル指定 実行設定 の構成を線画で説明

第4章 適用確認方法

1. クライアント端末を再起動します。
2. 以下のPowerShellコマンドで有効化を確認します：
`Get-CimInstance -Namespace root / Microsoft / Windows / CI -ClassName Win32_CodeIntegrityPolicy`
3. イベントビューア（Microsoft-Windows-CodeIntegrity/Operational）でも確認可能です。

図4：適用確認フロー

（図）再起動後にポリシーが適用される流れを矢印付きブロック図で説明

第5章 トラブルシューティング

主なエラーと対処：

- ・アクセス拒否 配布時に管理者権限が有効か確認
- ・ポリシーが無効 ファイル配置フォルダの誤りを確認
- ・配布失敗 Skysea配布ログまたはクライアントログでエラーコードを確認

図5：トラブル対応フロー

(図) 原因 対策の流れを線画フローチャートで説明